

MEGURO

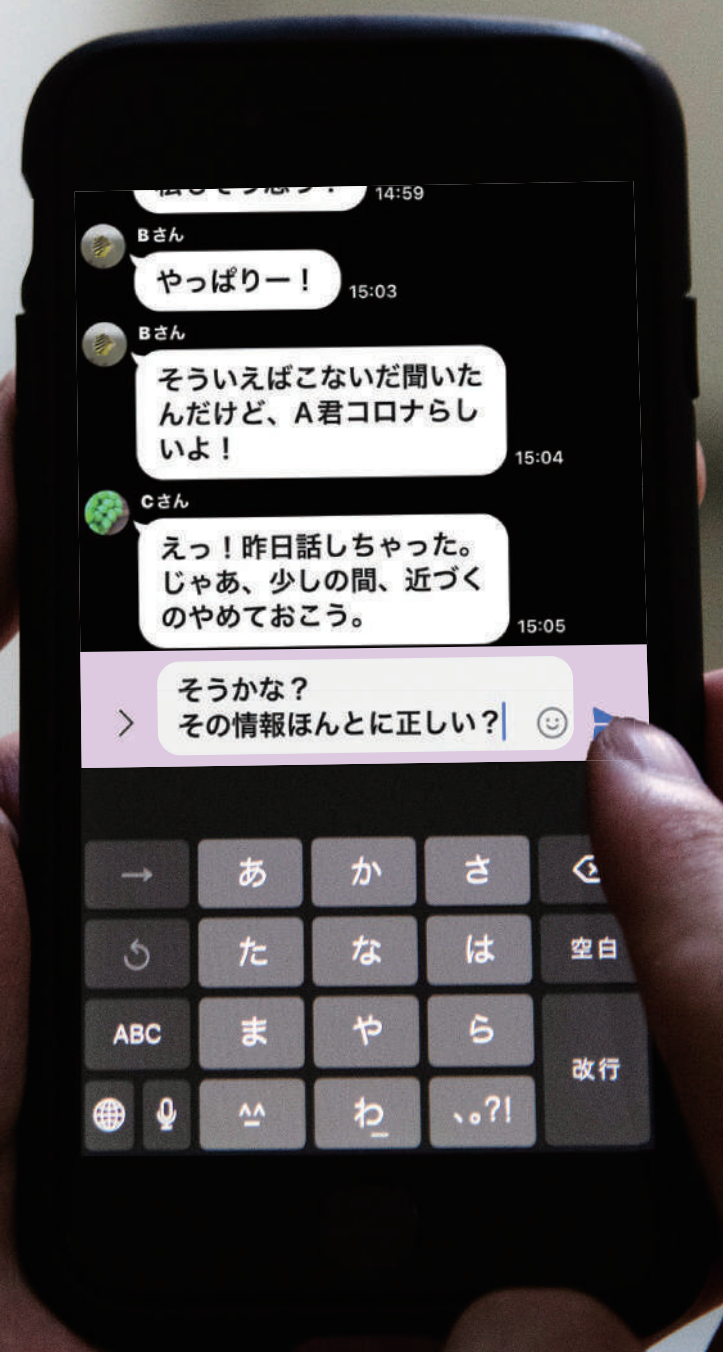
— めぐる区報 —

12 / 1

令和3年(2021年)
No.2124

特集
人権

SNS時代、今やあなたも発信者 悪意なき人権侵害を防ぐために



追加接種(3回目) を実施します

☎新型コロナウイルス接種コールセンター
(☎0120-102-654、☎5722-7048)

12月から新型コロナワクチン追加接種(3回目)を実施します。目黒区に住民票がある18歳以上で、2回目を接種してから8カ月以上経過したかたが対象です。接種券は、2回接種してから8カ月を経過する少し前から、順次お送りする予定です。詳細は12/15号でお知らせします。



特集
人権SNS時代、今やあなたも発信者
悪意なき人権侵害を防ぐために

■ 人権の話は、今、コロナと直結しています。コロナ禍の中で多くのデマが生まれ、誰もが、気付かないうちに差別をしてしまう恐れがあります。そこで、皆さんには4つの「疑問ワクチン」を接種していただきたいです。そうすれば、デマウイルスに対して抗体ができ、差別を未然に防ぐことがかなりできるようになります。事例を通して一緒に見ていきましょう！

※SNS=ツイッター、インスタグラムなどスマートフォンやパソコンを使って交流する会員制サービス

1 地震でライオンが
動物園から脱走!?

まだ分からないよね?

疑問
ワクチン
そ

即断するな

初めて聞く情報に出合ったら、本当か「まだ分からないよね」と、情報をいったん止めましょう。結論を即断しないことが大切です。簡単なようですが、これができていないから、世界中でデマ情報がこんなに飛び交っているのです。

何が本当かを結論づけるのは、予備知識がないと難しいですね。でも、1回止めて、何が本当かを決めないでおくことは、簡単です。ただ保留すればいいのです。

「いいね」などの人数とその情報の信ぴょう性は関係ありません。情報を○か×で、すぐ決めつけるのではなく、「かもしれない」を豊かに想像できる自分は柔軟なんだと考えましょう。

2 A君がコロナウイルスに
感染したと思込む

意見・印象じゃないかな?

疑問
ワクチン
う

うのみにするな

多くの情報は事実描写のほかに、それを発信する人の意見・印象が入り混じって伝わってきます。その情報を入り混じったまま、うのみにしないということです。

大切なのは、情報を2つに分けること。事実っぽい部分と、意見・印象っぽい部分に分けます。左の事例であれば、「A君はコロナかも」という単なる推測(印象)が、いつの間にか「A君はコロナだ」という話にすり替わっています。

発信者の単なる意見や印象がだんだん事実として伝わってしまう怖さ。初耳の情報は、どうも事実っぽい部分と、意見や印象っぽい部分をざっくり分けないと、証拠もないのに、決めつけてしまうことになりかねません。良いこと(感染防止)をしているつもりで、差別の加害者にならないでください。



12/10は世界人権デー、12/4~10は人権週間です。
元TBS報道局キャスターで、現在、白鷗大学特任教授の下村健一氏を講師に迎え、「SNS時代、今やあなたも発信者」をテーマに、人権週間の記念講演を行いました。情報の受け取り方を間違えてしまうと、よかれと思った行動も、実は人権侵害につながる危険性があります。インターネット上に飛び交う、うその情報に踊らされないためにはどうしたらいいの。日常生活での具体的な方法を教えていただきました。

個人権政策課人権・同和政策係
(☎5722-9214、☎5722-9469)

3 指クルクル
実験

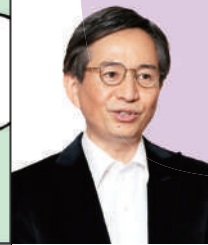
他の見え方もないかな?

疑問
ワクチン
か

片寄るな

他の見え方もないか考えることも大切です。情報をひねって考えてみましょう。そのときに活躍するのが、かえるです。立場をかえる、重心をかえる、順序をかえる、角度をかえるなど。いろいろなかえるの目で見ると、同じ情報が、まったく違う姿で見えてきます。

例えば、立場の数だけ、見え方があります。1つのことに対して違うことを言っている人たちがいたら、「1人が正直で他はウソつき」と簡単に思い込まず、違う立場から言っているにすぎないかもと試してみてください。この想像力が働くようになると、1つの見方・考え方が絶対に正しいという決めつけにとらわれなくなります。

4 MERS(※)報道の一面と
コロナ報道の一面

隠れてるものはないかな?

疑問
ワクチン
な

中だけ見るな

情報とは、スポットライトです。マスコミ報道や日常会話も、すべてスポットライトを当てて選ばれた情報のやりとりです。見えている情報が全世界だと思い込むと、レッテルを貼って差別や偏見につながってしまうことも。そうならないための対策が3つあります。①他の情報源を探すこと。②SNSなどで、自分とは意見が違う人ともわざとつながること。するとあなたのスマートフォンに、他の見方が自動的に届くようになります。③別の情報源が見つからないとき、想像力のスイッチを入れること。スポットライトの周りの暗闇には捨てられた情報があるかもしれないと想像を広げることです。この訓練をしていくと、そう簡単に差別情報に振り回されなくなります。



※MERS(マーズ) = 2012年に初めて報道された、当時は新種のコロナウイルス感染症

疑問ワクチン「そ・う・か・な」を唱えよう

4つの話をしてきました。頭文字で覚えてください。「そ・う・か・な」です。
情報の受け止めは、実は食事や道を歩くときの注意と同じです。①即断(そくだん)するな=飛び出すな②うのみにするな=よくかんで③片寄(かたよ)るな=好き嫌いするな④中(なか)だけ見るな=左右をよく見て。この「そ・う・か・な」もちょっと練習すれば普通にできるようになります。「そ・う・か・な」を心掛ければ、インターネット上のいい加減な情報に惑わされることは大幅に少なくなります。皆さんは情報に振り回される被害者にも、加害者にもならず、悪意のない人権侵害をしないよう、気を付けていきましょう！



アンケートに答えたかたへ
干支土鈴をプレゼント!



本紙、特集「SNS時代、今やあなたも発信者」または人権週間記念講演2021の動画(3面のコード①)をみて、配付場所でアンケートに回答していただいたかたに進呈します。

12/7(火) ~10(金)

配付場所	時間	配付数
総合庁舎本館4階人権政策課	9:00 ~ 16:00	各150人(先着)
八雲中央図書館(八雲1-1-1 区民キャンパス内)	9:00 ~ 21:00	

※今年度の人権週間
区民のつどいは、
感染症対策のため
中止します